

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 2025年3月29日 8世帯(利用児童数8名) 回収数 6世帯(回収率 75%)							
児童デイサービス はみんくfun	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			2		・事業所見学は随時対応可能です。療育の見学日も検討致します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4			2	・特に求めてもいません。 ・ご家庭のご希望に合わせた交流を提案させていただきます。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5		1		・まだ作成中のようです。 ・作成に時間が掛かってしまい大変申し訳ございません。もう少しお待ち下さい。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1		2	・療育の見学や面談の回数を増やせばと考えております。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		3		3	・ご家族も参加可能なイベントも今後計画してまいります。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
非 常 時 等 の 対 応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			1	・各マニュアルは作成しております。訓練につきましては随時実施致します。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		1	・利用者様全員が訓練に参加出来る様、日程調整致します。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29	事業所の支援に満足していますか。	6					

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス はみんぐfun		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8世帯(利用児童数8名)	(回答者数) 6世帯
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小集団で個別対応となっているので、子ども達の細かな変化に気付き、即時スタッフが対応出来る環境である。	・子ども達の「やりたい！」に出来る限りお友達やスタッフを巻き込み、小集団での活動を行っている。	・子ども達の「やりたい！」がマンネリ化しない様、提供する玩具を変えてみたり、スタッフが提案した内容も取り入れてみる。
2	・毎日来所してくれている子がほとんどなので、より近くで成長を見守り、保護者とスタッフで情報を常に共有しやすい。	・自宅へ送る際に、なるべく保護者と話せる時間を確保出来る様に送迎ルートを組んでいます。	・保護者との面談や電話で、ゆっくりお話しが出来る機会を更に増やし、最適な療育方法を常に考えて提供したい。
3	・スタッフ数も多くはないので、スタッフ間での話し合いも適時行い、業務の進行具合や連絡事項の報告がタイムリーに行える。	・スタッフ間での毎週の打ち合わせは勿論行っておりますが、療育中でも積極的にスタッフ同士が個別で情報を共有出来る環境があります。	・会議内容の共有を更に早く全スタッフに共有出来る様、書類作成時間や個々の事務時間を確保する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・当事業所が1番大切にしている小集団、個別対応が故の送迎時のルートの組み方が難しい。	・職員の欠員が出た際の送迎と療育内容に大きく変更が必要な場合がある。	・全職員が全ての送迎先に行ける様に、勤務日の変更や苦手なルートでの送迎を積極的に行っていく。
2	・室内空間が狭く、スペースを使う玩具を複数個同時に出せない。	・子ども達の成長と、利用者様と職員の増加により室内空間に制限が出てきてしまっている。	・部屋を分けて使用出来る内容の療育を行う。 ・子ども達の動き方が同時進行にならない様、スタッフ間での状況確認を行い、スムーズに次の療育に移行する。
3	・特に自由時間での療育内容がマンネリ化してしまう。	・楽しく遊べているのは大切だが、スタッフからのステップアップした提案が適時行えていない可能性がある。	・少しずつスキルアップが出来る様な玩具の数を増やし、スタッフも子どものレベルを日々見分けながら療育を行う。